視察成果報告書

令和８年１０月１３日

犬山市議会
議長 大沢 秀教 様

議員名 柴田 浩行

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1)視察年月日	令和８年１０月６日(火) ～７日 (水) (１泊２日)
(2)視 察 地	①兵庫県三木市 ②兵庫県姫路市
(3)視察の種類	常任委員会 民生文教委員会
(4)視察成果 (視察地ごとに記入)	①兵庫県三木市 【調査項目】「学校の在り方及び再編検討について」 (課題) ・三木市内の多くの学校で児童・生徒数が減少。 教育活動への制限が多く見られ早急な対応が必要。 (課題に対応するために) ・平成27年8月：総合教育会議において、学校適正規模・適正配置について協議が開始。 ・平成29年3月：「学校環境あり方検討会議」設置 (現：学校再編検討会議) ・令和元年10月：「三木市立小中学校の学校編成に関する実施方針」策定 ①一定集団規模を確保すること ②小中一貫教育の導入及び推進をすること ・令和4年6月：「三木市小中一貫教育推進協議会」が発足
(5)犬山市に対する提言	課題に対して、市長と教育委員会が共通認識を持った上で、総合教育会議において協議が開始された。学識経験者の意見を取り入れ、議論を重ねて実施方針を策定した。地域住民と丁寧な議論を重ねて学校再編に取り組んでいる。 三木市では、感情論で学校のあり方について議論するのではなく、学校の将来像を示した上で再編を進めている。「子どもを中心に据えて」考えていることは大いに評価できる。 「子育て世代は最適な学校環境を望む。高齢者はまず抵抗するが、地域に現状を理解してもらい、30年後について地域全体で検討していく。」との説明があった。 犬山市においても、児童・生徒数は更に減少する。早急に学校の在り方及び再編について検討を進めなければ、子どもたちに最適な学びの環境を提供できなくなると危惧する。学校の将来像を明確にし、学識経験者も取り入れた検討会議を設置すべきだと提言する。

犬山市議会
受付
8.10.13
275

(1)視察年月日	令和８年１０月６日(火) ～７日 (水) (１泊２日)
(2)視　察　地	①兵庫県三木市　②兵庫県姫路市
(3)視察の種類	常任委員会 民生文教委員会
(4)視察成果 (視察地ごとに記入)	②兵庫県姫路市 【調査項目】 「予防接種・乳幼児健診のデジタル化について」 (課題) ・紙受診の問題 ①記入の保護者負担　②結果把握までの時間 ③受信結果のデータ化のコスト　④保管場所の確保・管理リスク ⇒　ネット文化が根付いた世代に対するアナログ事務のギャップ (デジタル化の課題) ・デジタル化のコスト、デジタル化への能力など保健部門だけでは対応が困難。 (課題に対応するために) ・姫路市では「姫路版スマートシティ事業」を推進。 ⇒　保健部門の課題とデジタル部門のビジョンが一致。 ・デジタル田園都市国家構想交付金（現：地域未来交付金）を活用して、①母子健康手帳のアプリの導入　②乳幼児健診等のデジタル化　③小児予防接種のデジタル化を実施。 (今後の取り組み) ・市民にとって利便性が高いシステムの構築。 ・デジタル健診対応医療機関の拡充。 ・ＰＭＨ連携、電子版母子健康手帳へのスムーズな移行
(5)犬山市に対する提言	姫路市ではデジタル戦略本部を令和5年7月に設置している。保健部門のデジタル化は単独で取り組んでいるのではなく、市全体のデジタル部門のビジョンが一致する中で実施されている。 市長が少子化対策として、デジタルを活用した子育て支援の強化を示している。その主な取り組みとして、子育て応援アプリ「ひめっこ手帳」を導入して活用を推進している。 犬山市においても、ＰＭＨ連携が必要となる。デジタルを活用した子育て支援の強化は喫緊の課題だと考える。但し、デジタル化の推進は統括する部署が必要で有り、全体のビジョンの下で担当毎に取り組むべきだと提言する。